

## 非鉄金属用塗膜剥離剤（浸漬タイプ）

# ハクリスト01

ハクリスト01は、有害な塩素系溶剤（塩化メチレン等）や毒性の強いフェノール等を一切含まない安全性の高い塗膜剥離剤です。  
加温して使用する事で剥離力が著しく向上し、フッ素、ポリウレタン、エポキシ、エポポリ、ポリエステル、メラミン、アクリル樹脂等の塗膜に対して優れた剥離力を発揮します。  
アルミを変色、腐食する事なく塗膜のみきれいに剥離します。

### 用途

- ・ハンガー、治具、マスキング治具、スノコ、アミ、カップガンなどに付着した塗膜の剥離
- ・発泡材の塗膜の剥離、塗装不良品の剥離

### 特長

- ・有機溶剤中毒予防規則・毒劇物取締法・P R T R法・労働安全衛生法の通知対象物質等に該当しない安全性の高い塗膜剥離剤です。
- ・液性がアルカリ性なので、金属への腐食性は殆どありません。
- ・消防法上の危険物に該当しないので消防法の法的規制は受けません。
- ・排水の際に問題となるフェノールやクロム酸塩は含有していません。
- ・非鉄金属（アルミ・亜鉛メッキ等）を腐食、変色せずに塗料を剥離できます。

### 使用方法

- ・ハクリスト01は、原液のまま剥離槽に仕込み、被剥離物を浸漬して下さい。  
加温する場合は60～90℃までの温度で使用して下さい。  
槽の材質はステンレス鋼を使用して下さい。
- ・浸漬し、塗膜が軟化・膨潤又は溶解するのを待って引き上げ後、圧力水・ブラシ等を用い水洗し除去して下さい。
- ・水洗後、剥離不十分で再浸漬する場合は、被剥離物の水分をなるべく取り除いて下さい。  
※剥離槽に水が5%以上混入すると、素材（アルミ・亜鉛メッキ等）が変色する恐れがあります。
- ・水洗が不十分な場合は、再塗装の障害となりますので注意して下さい。
- ・剥離された塗膜が剥離槽の液中に溜まりますと液の劣化を早めるので、槽に細かい目の網かごを沈めておき、時々引き上げて剥離された塗膜を除去して下さい。

### 性状

外 観	無色透明液体
臭	アミン臭
比 重 (15℃)	1.04
p H	12.1
引 火 点	なし

#### 【組成】

アルコール系溶剤  
防錆剤  
水

#### 【荷姿】

17ℓ アトロン缶

FN. 220331 1/5

〔製造元〕

 **クソノキ化学株式会社**

本 社 大阪府富田林市若松町東 1-205  
TEL 0721 (26) 2271 (代表)  
FAX 0721 (26) 2273

〔販売〕

 **菱江化学株式会社**

本 社 東京都中央区日本橋本町 4-12-20 PMO 日本橋本町ビル  
TEL 03-6861-0054  
FAX 03-6861-0034



- 1. 素 材      アルミニウム缶／フィルム
- 2. 剥離剤      ハクリスト 01
- 3. 設 定      80℃／3時間～4時間
- 4. 備 考      アルミに対しての影響無し



1. 素材            電気メッキ
2. 剥離剤        ハクリスト 01
3. 設定            75℃/40分
4. 塗料            粉体塗料 (ポリエステル) / 膜厚 40~50μ
5. 用途            塩ビ配管用取り付け金具
6. 備考            剥離後の電気メッキ面への影響無し

# ハクリスト01の素材に対する影響

ハクリスト01は、アルカリ性洗剤で金属に対しては殆ど影響を与えませんが、ある種の金属（アルカリ腐食金属）は長時間の接触により変色を起こす事があります。

樹脂やゴムに対しても材質によって、膨潤もしくは溶解等の影響を与える事があるので洗剤としての適性や洗剤装置等を決定される際は、被洗物や洗剤装置等の材質に影響のない事を事前に確認して下さい。

## 1. 金属に対する影響

### ①試験方法

ハクリスト01に試験板（30mm×20mm）を浸漬（20℃×24Hr）後、水洗し、乾燥させてから外観判定と重量測定を行った。

### ②評価方法

外観と重量測定結果の評価は以下の基準で表示した。

〔外観の表示基準〕

○：錆の発生や変色がない。

△：わずかに変色がある。

×：錆の発生や変色がある。

〔重量変化の表示基準〕

○：重量変化率±1%未満

△：重量変化率±1%以上±5%未満

×：重量変化率±5%以上

### ③結果

材 質	外 観	重量変化
鉄	○	○
アルミニウム	○	○
SUS430	○	○
真鍮	△	○
銅	△	○
トタン	△	△

## 2. ゴム・樹脂に対する影響

### ①試験方法

ハクリスト01に試験板（30mm×20mm）を浸漬（50℃×1Hr）後、水洗し、乾燥させてから外観判定と重量測定を行った。

### ②評価方法

外観と重量測定結果の評価は以下の基準で表示した。

〔外観の表示基準〕

- ：膨潤、溶解、白化等がない。
- △：膨潤、溶解、白化等はないがわずかに変形。
- ×：膨潤、溶解、白化等有り。

〔重量変化の表示基準〕

- ：重量変化率±1%未満
- △：重量変化率±1%以上±5%未満
- ×：重量変化率±5%以上

### ③結果

材 質	外 観	重量変化
天然ゴム	△	△
クロロプレン	△	△
PP	○	○
硬質塩化ビニール	△	×
アクリル樹脂	×	×
PVC	△	△
シリコン	○	△